

令和6年度

教育委員会の権限に属する事務の管理及
び執行の状況に関する点検・評価報告書

上ノ国町教育委員会

目 次

I	点検及び評価の概要	1
1	はじめに	1
2	点検及び評価の対象	1
3	点検及び評価の方法	1
4	議会への報告	1
5	報告書の公表	1
II	教育委員会の運営状況	2
1	教育委員会委員	2
2	教育委員会議の開催状況	2
3	教育委員会議以外の活動状況	5
III	教育委員会所管予算・決算状況	6
1	令和6年度予算・決算状況	6
2	年度別教育委員会所管予算の推移	6
IV	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する 点検・評価シート	7

I 点検及び評価の概要

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。

2 点検及び評価の対象

令和6年第1回上ノ国町議会定例会で教育長が表明した令和6年度教育行政執行方針に掲げる主要施策を点検及び評価の対象とします。

3 点検及び評価の方法

令和6年度教育行政執行方針の各施策について、教育委員会が「領域」、「主要課題及び目標」、「施策項目」に分類し、「達成度※」、「主な取組状況」、「課題と問題点」に分けて点検及び評価を行いました。

※達成度の記入方法

達成できたもの	◎
おおむね達成できたもの	○
若干課題が残るもの	△
達成できなかったもの	×

4 議会への報告

「令和6年度上ノ国町教育委員会点検・評価報告書」として、町議会に提出します。

5 報告書の公表

町議会への提出後、町のホームページにより「令和6年度上ノ国町教育委員会点検・評価報告書」を公表します。

Ⅱ 教育委員会の運営状況

1 教育委員会委員

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第3条の規定により、教育長と4人の教育委員から構成されています。

(令和7年3月31日現在)

職 名	氏 名	任 期
教育長	上 野 敦 也	令和5年10月1日～令和8年9月30日
委員（職務代理者）	波佐谷 宏 昭	令和6年10月1日～令和10年9月30日
委員	古 館 和 江	令和3年10月1日～令和7年9月30日
委員	野 崎 香奈子	令和5年10月1日～令和9年9月30日
委員	水 島 久 治	令和6年9月12日～令和8年9月30日

2 教育委員会議の開催状況

教育委員会は、町長から独立した執行機関として設置されており、教育長及び教育委員4名で組織し、6回の会議を開催しています。町の教育に関する事務を管理及び執行するために、教育行政運営上の重要な付議事件等について審議し決定しています。開催状況は、次のとおりです。

開催日	出席委員数	案 件	結 果
令和6年第3回 令和6年5月31日	5名	議案 ○第1号 令和6年度教育委員会所管予算の補正について	可決
		○第2号 上ノ国町教育支援委員会委員の任命について	可決
		報告 ○第1号 令和5年度教育委員会所管予算の専決処分について	承認
		○第2号 令和6年度教育委員会所管予算の補正について（第3回町議会臨時会 4月30日開催）	承認
		○第3号 上ノ国町教育委員会事務局職員等の人事発令について	承認
		○第4号 上ノ国町社会教育委員の委嘱について	承認
		○第5号 上ノ国町スポーツ推進委員の委嘱について	承認
		○第6号 令和6年度教育委員会所管予算に係る各種契約等の締結について	承認
		○第7号 上ノ国町教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について	承認
		○第8号 独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済掛金に関する要綱の制定について	承認

令和6年第4回 令和6年8月30日	4名	議案 ○第1号 令和6年度教育委員会所管予算の補正について ○第2号 令和7年度に使用する小学校用教科用図書の採択について ○第3号 令和7年度に使用する中学校用教科用図書の採択について ○第4号 令和7年度に使用する一般図書の採択について 同意 ○第1号 教育委員会委員の辞職の同意について 報告 ○第1号 上ノ国町教育委員会事務局職員等の人事発令について ○第2号 上ノ国町立学校職員の令和6年6月期における勤勉手当に係る成績区分の判定について ○第3号 いじめに関する意識調査について ○第4号 令和6年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について ○第5号 令和6年度教育委員会所管予算に係る各種契約等の締結について ○第6号 上ノ国中学校部活動補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	可決 可決 可決 可決 可決 承認 承認 承認 承認 承認 承認
令和6年第5回 令和6年11月19日	5名	議案 ○第1号 上ノ国町立学校職員に係る処分の内申について ○第2号 令和5年度上ノ国町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告の上ノ国町議会への提出について 報告 ○第1号 上ノ国町教育委員会教育長職務代理者の指名について ○第2号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について ○第3号 上ノ国町立学校職員の令和6年12月期における勤勉手当に係る成績区分の判定について ○第4号 令和7年度上ノ国町立小学校入学予定者について ○第5号 令和6年度教育委員会所管予算に係る各種契約等の締結について 協議 ○第1号 令和6年度教育委員会学校訪問について	可決 可決 承認 承認 承認 承認 承認 決定

令和6年第6回 令和6年12月3日	5名	議案 ○第1号 令和6年度教育委員会所管予算の補正について ○第2号 上ノ国町学校給食費徴収条例の制定について ○第3号 上ノ国町立学校職員在宅勤務実施要領の制定について 同意 ○第1号 令和6年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について	可決 可決 可決 可決
令和7年第1回 令和7年2月6日	5名	議案 ○第1号 上ノ国町附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について ○第2号 上ノ国町文化財施設建設委員会設置要綱の制定について ○第3号 上ノ国町いじめ防止対策推進条例の制定について 報告 ○第1号 市町村立学校職員の令和7年1月1日昇給における昇給区分の決定について	可決 可決 可決 承認
令和7年第2回 令和7年2月27日	5名	議案 ○第1号 令和6年度上ノ国町教育・文化・スポーツ表彰被表彰者の決定について ○第2号 令和6年度教育委員会所管予算の補正について ○第3号 上ノ国町総合福祉センター管理運営規則の一部を改正する規則の制定について ○第4号 上ノ国町スポーツセンターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について ○第5号 外国語指導助手等任用規則の一部を改正する規則の制定について ○第6号 上ノ国町民図書室管理運営要綱の制定について 報告 ○第1号 令和7年度教育費予算の査定結果について 協議 ○第1号 町立学校卒業式及び入学式への委員の参列について	可決 可決 可決 可決 可決 可決 承認 決定

3 教育委員会議以外の活動状況

教育委員は、教育委員会議以外にも学校訪問や諸行事への出席等の活動を行っています。活動状況は、次のとおりです。

開催日	出席委員数	行 事 等	活動場所
令和6年4月6日	2名	入学式	各町立学校
令和6年6月11日	1名	檜山管内教育委員会連絡協議会定期総会	北海道檜山合同庁舎
令和6年6月21日	4名	四者合同歓迎会	弁天寿司
令和6年7月17日～19日	2名	第59回北海道市町村教育委員会研修会	ホテルライフオー・札幌(札幌市)
令和6年8月15日	2名	令和6年度上ノ国町20歳を祝う会	上ノ国町総合福祉センター
令和6年10月19日	1名	学校祭	上ノ国中
令和6年10月20日	1名	学習発表会	河北小
令和6年11月3日	2名	町民表彰式	上ノ国町総合福祉センター
令和6年11月11日～12日	3名	檜山管内教育委員会連絡協議会臨時総会・研修会	ホテル法華クラブ函館
令和6年12月3日	4名	学校訪問	各町立学校、上ノ国高等学校
令和7年1月28日	4名	総合教育会議	上ノ国町総合福祉センター
令和7年3月7日	2名	上ノ国町教育・文化・スポーツ表彰式	上ノ国町総合福祉センター
令和7年3月18日	1名	卒業式	上ノ国小
令和7年3月19日	1名	卒業式	河北小

Ⅲ 教育委員会所管予算・決算状況

1 令和6年度予算・決算状況

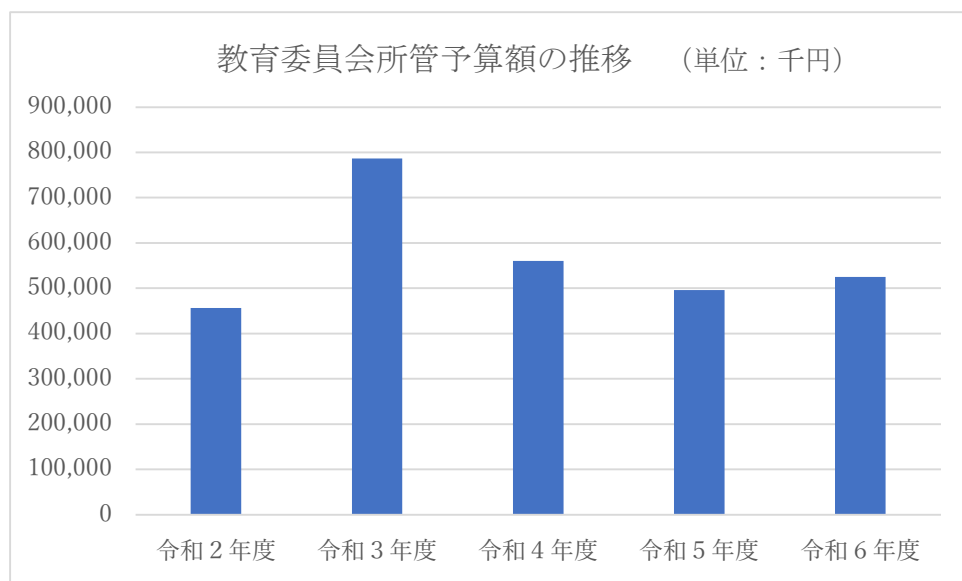
(単位：千円)

款	項	予算現額	構成比	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率
3 民生費	1 社会福祉費	21,426	4.1%	21,064	0	362	98.3%
10 教育費	1 教育総務費	33,975	6.5%	32,809	0	1,166	96.6%
	2 小学校費	99,958	19.1%	95,093	0	4,865	95.1%
	3 中学校費	141,384	26.9%	134,548	0	6,836	95.2%
	4 社会教育費	74,268	14.1%	73,251	0	1,017	98.6%
	5 保健体育費	153,905	29.3%	150,833	0	3,072	98.0%
計		524,916	100.0%	507,598	0	17,318	96.7%

2 年度別教育委員会所管予算の推移

(単位：千円)

年度	予算現額	前年度比
令和2年度	456,308	125.2%
令和3年度	786,033	172.3%
令和4年度	560,158	71.3%
令和5年度	495,685	88.5%
令和6年度	524,916	105.9%



IV 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

領 域	主要課題及び目標	施 策 項 目	評 価		
			達成度	主な取組状況	課題と問題点
新たな時代をたくましく生き抜き、本町の発展を担う子どもを育む学校教育の推進	「学びの共同体」を基盤としながら、多様な見方、考え方を大切にし、変化を前向きに受け止め、主体的に課題を見つけ協働して解決できる能力の育成	保護者や地域関係者の意見を学校経営に反映		学校運営協議会を次のとおり開催した。 第1回 令和6年6月25日 ① 会長及び副会長の選出について ② 学校運営に関する基本的な方針の承認について ③ 学校と地域による意見交換 第2回 令和6年10月30日 ① 目指す子ども像について ② 通学路における交通安全の確保について 第3回 令和7年3月11日 ① 令和6年度学校評価について ② 令和7年度学校運営に関する基本的な方針の概略（グランドデザイン）について	学校運営協議会の趣旨について、学校を含め委員間において生じている認識の差異を解消する必要がある。 委員の構成について、保護者の割合が低いことから、保護者の意見を反映しやすくするため構成割合を見直す必要がある。 学校運営に関する地域住民等の関わりについて、従来の取組内容及び実績の見える化を進め、議論の際の基礎情報の充実を図る必要がある。 小中高の地学協働活動について、持続可能な学びの仕組みを構築する必要がある。
	未来を担う生徒の夢や希望を育てる中等教育の充実	上ノ国高等学校について、地域と一体となった教育を進めるため、関係機関との連携と接続を図る。	○	学びの共同体による活動及び特色ある学校運営を目的とした上ノ国高等学校に対する各種支援を通し、中等教育の充実を図った。 また、上ノ国高等学校長が校長会議の構成員となることにより、小中高の連携と接続に努めた。	学びの共同体の構成校である上ノ国高等学校の魅力化・特色化を進め、学校の存続を図る必要がある。
	働き方改革の推進	「上ノ国町アクション・プラン」をさらに推し進め、児童生徒の学びのために、教職員の限られた勤務時間の中で効果的な働き方の構築に努める。	△	学校生活で特別な支援を要する児童生徒に対しサポートを行うため、特別支援教育支援員を配置し、教員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備を図った。 各校に校務支援システムを導入し、情報の共有化及び業務の効率化を図った。 上ノ国中において、ブラッシュアップデーの導入及び余剰時数の削減等により、働き方改革を進めた。 部活動の地域展開が図られた（柔道少年団）。	教職員の時間外在校時間について、中学校では縮減が図られたものの、小学校では増大していることから、内容を検証し、より一層の縮減に努める必要がある。 校務系端末について、各校から動作の遅さが指摘されていることから、端末の更新を進める必要がある。 道教委からのメール処理について、教育委員会において精選を進める必要がある。
	I C T教育の推進	教員が「教える授業」から、子どもたちが学習への興味関心を高め、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善と学習支援に取り組み、教員の I C T活用技術の向上に努める。	○	授業支援ツールやデジタルドリル等の I C Tを活用し、児童生徒による学習への興味関心を高めることができたほか、効率的・効果的な授業を行うことができた。 各校に校務支援システムを導入し、情報の共有化及び業務の効率化を図った。 従前ネットワーク回線が未整備であった上ノ国小保健室及び上ノ国中小会議室において I C Tの活用を図るため、回線を増設した。 各町立学校の I C T担当職員による I C T会議（教育委員会事務局主催）を年3回開催し、学校が求める I C T環境に係る情報収集を行ったほか、学校間の情報共有を図った。	I C Tとアナログ手法の効果的な併用を進める必要がある。 学習系端末について、予備数に余裕がないことから、適切な修理又は予備品の購入が必要である。 教員の I C Tに関する知識に個人差があることから、I C Tに関わる研修会等を開催する必要がある。

IV 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

領 域	主要課題及び目標	施 策 項 目	評 価		
			達成度	主な取組状況	課題と問題点
	幼児教育の推進	保護者への助言や働きかけを通じ、幼児期の特性や発達の課題に応じて、幼児教育機関と小学校の円滑な接続に向けた取り組みを図るなど、幼児期からの学びの基盤づくりに努める。	○	学びの共同体による活動により、保育所参観や幼児・児童・生徒実態交流会の開催等の取組を行うことができた。	子どもの成長を切れ目なく支える観点から、保小の円滑な接続を一層意識し、架け橋期のカリキュラムを作成する必要がある。
	外国語教育の推進	外国語を通じたコミュニケーション能力を育む授業を推進し、一人一台端末の活用とＩＣＴを有効利用し国際理解の意欲を高める指導の工夫に努める。	○	外国語指導助手による指導やデジタル教科書の活用により、外国語教育の充実を図った。	小中高と一貫した英語教育の枠組みを構築する必要がある。
	生徒指導の充実	望ましい人間関係を築く力を育むなど、不登校やいじめの未然防止を図るため引き続きスクールカウンセラーを配置する。	◎	各校において、道徳教育の充実、教員間の連携強化、生徒間交流の実施、悩みを抱える生徒に対し相談の場を設けるなどし、いじめや不登校の未然防止に努めた。 スクールカウンセラーを配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実を図った。 いじめ・不登校対策委員会を開催し、問題解決を図るための具体的な指導対応方針や必要な諸対策等について検討協議を行った。	いじめについては、積極的な認知に努めるほか、児童生徒や保護者の抱える悩みを受け止めるため、引き続きスクールカウンセラーを配置する。
	安全教育の推進	自然災害から命を守る防災教育の充実と防犯、交通安全に対する意識の向上、また、ネット犯罪やトラブルに巻き込まれないための情報モラル教育の実践に、上ノ国高等学校生徒の協力によるピアサポート活動を支援する。	◎	学びの共同体による活動のほか、令和６年度は、北海道実践的安全教育モデル構築事業のモデル地域として、上ノ国小を拠点校に各校様々な安全教育を実践した。 ネット犯罪やトラブル防止のため、ネットパトロールを実施した。	安全教育については、形骸化しないよう不断の見直しを行う姿勢が必要である。 ネット上のトラブルに巻き込まれることのないよう、引き続きネットパトロールを実施する必要がある。
	小規模・複式教育の充実	学校間交流を行うことによる自主性や集団性を育てる学習の充実と、互いに学び合える力を身に付けるための学校間連携などの活動を進める。	◎	河北小において、校内行事や校外学習、外部講師による授業など、日常の様々な教育活動において、「感想発表タイム」を設け、自分の言葉で意見や感想を発表する機会を意図的に設定した。 全校集会で学年による発表や作文発表を定期的に実施した。 上小との合同学習や合同行事を通して小小連携や児童間交流が図られた。	小中連携について、職員相互による授業参観のほか、児童生徒間交流を通し、小中の円滑な接続や中１ギャップの解消に引き続き努める。

IV 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

領 域	主要課題及び目標	施 策 項 目	評 価		
			達成度	主な取組状況	課題と問題点
	特別支援教育の充実	特別な支援を要する児童生徒の把握と理解に努めることはもとより、児童生徒一人ひとりが充実した学校生活を過ごすことができるよう「特別支援教育支援員・介助員」などを配置する。	○	特別支援教育に対する教員の専門性の向上を目指して、道教委に対し全ての学校でパートナーティーチャーの派遣を要請し、校内研修に努めた。 普通学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒の多様な特性に対応するため、特別支援教育支援員・介助員を配置し、学習活動上のサポートを行った。	各校ともに複数の障害種の学級を開設しているが、その障害種に応じた教員の専門性の向上が求められている。 大部分の授業を普通学級で受けながら、一部、児童の特性に応じた特別な指導を行う通級指導教室の開設が求められている。 普通学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒が増加する傾向にあるが、一方で特別支援教育支援員等の担い手不足が課題となっている。
	読書活動の推進	読書の習慣を身に付けるための啓発活動や、発達段階に応じた読書機会を提供する読み聞かせボランティアの支援に努める。	○	各校においては、朝読書の時間を設けるなどの取組により、読書習慣の定着に努めた。 絵本読み聞かせサークル「もこもこ」による「読み聞かせ巡回」や巡回図書を活用により、読書の楽しさ・豊かさ気づかせる取組を行った。	家庭内において動画視聴、ゲーム、SNS等を利用する割合が高く、読書時間のみならず学習時間にも支障をきたしている。
	体力・健康づくりの推進	「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の結果を踏まえた授業の構築に努める。	◎	「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」における体力合計点について、男子は全国・全道平均を下回ったものの、女子は上回ることができた。 中学校では、柔軟性に欠ける生徒が多い傾向にあることから、体育の授業や部活動において工夫を凝らした取組に努めたものの、調査結果では体力合計点が男女ともに全国・全道平均を下回った。	引き続き、バランスのとれた体力・運動能力を身に付けるための授業づくりに努める必要がある。 学校遊具の経年劣化が見られることから、安全点検及び必要に応じて更新を行う必要がある。

IV 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

領 域		主要課題及び目標	施 策 項 目	評 価		
				達成度	主な取組状況	課題と問題点
スポーツと芸術・文化の活動推進	スポーツ活動の推進	町民が生涯に亘り健やかな生活を送ることができるためのスポーツ活動の推進	スポーツセンターや各施設を拠点とした健康・体力づくりはもとより、各種イベントの開催など、スポーツ推進員や各種スポーツ団体と連携し、各種イベントや大会開催などの支援に努める。	◎	誰もが気軽に健康・体力づくりに向けた取り組みのきっかけづくりやスポーツに親しむ場を提供するため、健康づくり教室の開催や、スポーツ推進委員と各スポーツ団体が連携し、「町民スポーツフェスティバル（9/29、24チーム、228名参加）」を開催した。 また、スポーツ施設の適切な維持管理に努め、各種大会開催の支援に努めた。	中学校部活動の地域展開に伴い、部活動指導員の確保や地域からの指導者の掘り起こしが課題となっている。
	芸術・文化活動の推進	心の豊かさと生活に潤いをもたらす芸術・文化活動の推進	本町の歴史と文化にふさわしい講演や芸術鑑賞などの開催に努める。	◎	文化協会への活動支援を行い、町民文化祭を開催することにより、文化活動の発表の場を提供するなど文化活動の啓発に努めた。 また、舞台芸術や音楽鑑賞に触れることの少ない町民に対し、芸術・文化鑑賞事業（小中高「ミラクル中国雑技団、一般「楓流」（150名参加））を行い芸術文化へ触れる機会の提供を図った。	文化協会の活性化と会員の増加に向け、地域でのサークル活動や個人での文化活動の人材の掘り起こしが課題となっている。
	町民図書室の充実	読書活動の推進	図書情報の発信と図書の整備を図り、読み聞かせボランティアと連携しながら、読書活動の推進に努める。	○	図書室の利用を促進するため、毎月町広報紙への新着本の掲載や、小中学校への図書便りを年5回発行するなど、図書情報の発信を図った。 また、ボランティアサークルとの連携により、ブックスタートや小学校での読み聞かせ（上小15回、河北小3回）、大型絵本などの読み聞かせイベント「えほんのひろば」（2回、161名参加）を開催し、読み聞かせ用の紙芝居やエプロンシアターの素材提供を行い、活動の支援を図った。	活字離れが進む中、読書活動の啓発にボランティアサークルの協力が不可欠となっていることから、会員の拡充と担い手確保が課題となっている。
社会教育と生涯学習の推進	社会教育と生涯学習の推進	継続的な学習機会の提供及び世代間連携	地区生涯学習推進会議及び社会教育諸団体と協調し、継続的な学習機会の提供と世代間連携に努める。	○	持続可能な社会教育活動の推進のため、生涯学習出前講座を実施し、地域力の活用として、地域農業士を講師とした小学校の農業体験を行い、地域学習の一環とした。 また、5地区の生涯学習推進会議においては、それぞれの地域の特色を生かした3世代交流事業や体験事業を実施し、世代間連携に努めた。	地区生涯学習推進会議においては、役員等の高齢化による、担い手の確保が課題となっている。
	家庭教育の充実	幼児教育の向上	家庭教育については、家庭が基礎的な資質や能力を育成する全ての教育の出発点であることから、関係機関と連携を図り、学校教育の始まりまでに育ってほしい子どもの姿を共有し、保護者に対する学習機会や子育て情報の提供・相談などの支援に努める。	○	町PTA連合会の主催による教育講演会を、町学校保健会と町生涯学習推進本部の共催としたほか、町内学校間や父母の連携・協力を密にし共通課題の解決や家庭教育の充実を図った。	講演会においては、参加者の固定化が問題とされ、参加者の拡大が課題とされる。

Ⅳ 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

領 域	主要課題及び目標	施 策 項 目	評 価		
			達成度	主な取組状況	課題と問題点
	子どもたちの健全育成	未来を担う子どもたちの健全育成	◎	放課後の子どもの居場所づくりとしてカムカムクラブ（小学生18名）を年間27回開催した。	子どもたちに様々な体験学習の機会を与え、家庭や地域住民が積極的に参加ができるよう、体験学習事業運営の人材確保が課題とされる。
	高齢者教育の充実	高齢者の健康と生きがいづくり	○	町生涯学習推進本部から各地区生涯学習推進会議を通じて高齢者を対象とした健康教室などを開催し、地区生涯学習活動として高齢者の活動支援を行った。 また、スマートフォンの基本操作から安全に使用する知識などを身につける学習機会を提供するため、スマートフォン講座を開催した。	高齢者から若年層へ郷土文化の継承に向けた取組みについて課題となっている。
	女性活動の充実	女性活動の充実と支援	○	上ノ国町の女性団体活動への活動支援を行い、組織の維持に努めた。	地域女性団体の会員数の減少に伴い、会の存続についても検討している状況となっていることから、新規会員の獲得が課題となっている。
文化財の保護・活用、整備・公開	文化財の保護・活用、整備・公開	北の中世を体現する史跡上之国館跡をはじめ、歴史的建造物や埋蔵文化財など、先人が残した多くの貴重な歴史遺産の保存・観光資源としての活用・継承	◎	「史跡上之国館跡 花沢館跡・洲崎館跡・勝山館跡」の環境整備（草刈、草取り、支障立木の除去）を行い、史跡を通年で散策できるよう努めている。 花沢館跡整備実施設計に係る整備検討委員会2回を開催し、令和7・8年度に実施する花沢館跡の整備方針について審議した。 重要文化財指定品の保存修理は国庫補助を受け、委託先に外注して実施した。土製品・石製品23点を対象として保存箱5点の製作及び保存修理6点を行い、適切な保管に努めた。 埋蔵文化財包蔵地で小型風車の建設が予定されている箇所において、試掘調査対応を実施した。 史跡上之国館跡のうち洲崎館跡の整備事業を推進するため、文化財作業員5名を雇用して発掘調査を実施した。	勝山館跡の過去に整備した散策路や木製の整備箇所が老朽化しているため、再整備の必要性が生じている。 史跡の保存活用及びミュージアムの整備に係る運営体制について、検討する必要がある。 重要文化財を保管する上ノ国町役場庁舎2階の温度環境が一定でないことや書類と一緒に保管しているため、保管環境及び施設の整備を進める必要がある。 開発行為から埋蔵文化財包蔵地を保護するため、開発行為を行う事業者に周知を行う必要がある。 出土品を保管している「上之国館調査整備センター」が老朽化のため、改修する必要がある。

IV 教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価シート

教育指針 「かかわりあい 学びあい 育ちあう 学びの共同体」

上ノ国町教育委員会

領 域		主要課題及び目標	施 策 項 目	評 価		
				達成度	主な取組状況	課題と問題点
			町民が親しみながら郷土の歴史を学べる機会の提供など、積極的な情報発信を心がける。	○	文化財施設では、町内のガイド団体と連携して観光客の受入れを行い、入館者の増加に努めている。 今年度は、昨年度より微増の入館者数で旧笹浪家住宅が1,149名（前年度1,069名）、勝山館跡ガイドダンス施設が3,334名（前年度3,212名）となっている。 歴史講座は、「戦国水運体験（7/27）」17名、「かみのくにデジタル絵本講座（10/5）」13名、「洲崎館跡現地見学会（10/19）」20名、「考古学教室出前講座（11/17）」31名、「火起こし&六救さんづくり体験（2/22）」12名を実施し、計93名が参加している。 「ふるさと学習」では、小中学校で地域の歴史・自然が授業に取り上げられ、年間5回授業での対応をしている。 上ノ国町史編さん委員会の調査を7回開催し、町内の歴史文化に係る聞き取りや資料の確認を行った。町内の有識者で構成する上ノ国町史編さん委員会を1回、外部の有識者で構成する上ノ国町史編集委員会を2回開催し、「上ノ国町史」の今後の刊行内容について検討を行った。 また、デジタルアーカイブ「かみのくにまるっこまんま!! デジタルミュージアム」を公開し、町内外への普及啓発に努めている。	文化財施設では、旧笹浪家住宅の入館者数が勝山館跡ガイドダンス施設と比較して少ないため、見学だけでなく体験も含めた施設の利活用が必要である。 歴史講座やイベントが勝山館周辺に集中しているため、その他の地区で新たな視点における取組みを実施する必要がある。 関係する町内外の関係機関と連携を強化して交流人口の増加を図る必要がある。 町内外に点在する未指定文化財の所在確認や聞き取り調査が必要である。 町史のフルテキストデータをデジタルアーカイブに搭載するため、アーカイブトップページ等のコンテンツの拡充が必要である。